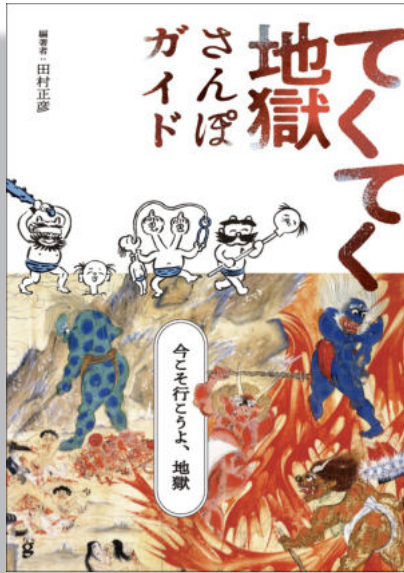


グラフィック社・10月の新刊

てくてく地獄

さんぽガイド 田村正彦 著



仏教の世界に定められた「八大地獄」と 室町期に誕生した「新地獄」をガイド形式で紹介

仏教界では、罪人は現世で犯した罪の種類により、8つの地獄のどこかに堕ちるとされています。本書ではそれぞれの地獄を、名だたる地獄絵により「旅行ガイド形式」で紹介（Access:どのような罪により堕ちるか、How long:地獄での責めの期間など）。「地獄に堕ちるのが怖くなくなる」をテーマに、それぞれを冗談・学問的知見を適度に交えながら解説します。また室町時代、庶民に仏教世界への関心を持ってもらうために新たに誕生したとされる新地獄も紹介。こちらも「八大地獄」と同じく、どのような人が堕ちるか、どのような体験（責め）があるか、などについてガイド形式で詳しく解説します。

紹介予定の地獄

八大地獄: 1.等活地獄、2.黒縄地獄、3.衆合地獄、4.叫喚地獄、5.大叫喚地獄、
6.焦熱地獄、7.大焦熱地獄、8.阿鼻地獄

新地獄: 1.血の池地獄、2.両婦地獄、3.不産女地獄、4.賽の河原

フルカラー144ページ/A5判/ISBN978-4-7661-3414-8 C0015/本体:1,600円

『てくてく地獄さんぽガイド』内容紹介



三途の川の管理人、「奪衣婆」

本編以外にも「地獄のStaff」や、「地獄に堕ちたと伝わる歴史上の人物」の紹介など、特集ページも盛りだくさんな内容に！



菅原道真の呪いで地獄に堕ちた？
醍醐天皇

それぞれの地獄の見るべきポイントを切り抜きで紹介。地獄で受ける「責め」について、まるで実際に体験するかのように紹介・解説することを心がけました。

地区	書店コード	書名	注文数
書店印		<p>てくてく地獄さんぽガイド</p> <p>田村正彦 著</p> <p>ISBN978-4-7661-3414-8 C0015 本体:1,600円</p>	冊